

行けばわかるさ

読書の小径 こみち No.103

土岐市図書館 ☎ 1253

「沖縄」



自然も、明治期に入るまで「琉球王国」であったという歴史も他府県とは際立った独自性をもつ沖縄県。今回はさまざま視点から沖縄を巡る本を紹介いたします。

ボンボヤージュ『旅ボン 沖縄編』。「ちびギャラ」で知られるボンボヤージュ氏の旅エッセイ「旅ボン」シリーズの「イタリア編」「富士山編」「北海道編」に続く第4弾です。面白けれど旅行には役立たないという評判もあるこのシリーズ。この本も、雨男の著者が沖縄で台風に遭遇し、雨ばかりの灰色の空をレポートするなど、一般のガイド本とは一味違ってきます。

「悲劇の島」は本当か？「琉球王国の栄光」は幻想ではないのか？沖縄の歴史を世界史の中において通観するのが、仲村清司『本音で語る沖縄史』です。著者は「沖縄人二世」として大阪に育ち、中年になって沖縄に住むようになった人。そのことがユーモラスで複眼的な視点を本書にもたらしています。

須藤功／編『宮本常一とあるいた昭和の日本ー奄美沖縄』。民俗学者、宮本常一によって1967年に創刊された雑誌『あるくみるさく』。高度経済成長に沸く昭和40〜50年代の日本で急速に姿を変えてゆく農山漁村の風景や暮らしの中に秘められた豊かさや知恵を探し求めて記録に残しました。「宮本常一とあるいた昭和の日本」はこの雑誌を地域別、テーマ別に全25巻に編んだものです。沖縄の昭和の暮らしと心が蘇ります。

新刊紹介

書名	著者
モロッコ	地球の歩き方aruco 14
3・11後ニッポンの論点	朝日新聞オピニオン編集部
老いない食事力	林 泰史
三池炭鉱 月の記憶	井上 佳子
英国王室御用達	長谷川喜美
ジブリの哲学	鈴木 敏夫
かんさい絵ことば辞典	ニシワキタダシ
大奥騒乱	上田 秀人

図書館だより

どこの図書館でも、出版される本すべてを購入・保存することは不可能です。そこで、それぞれの蔵書を互いに貸し借りする協力体制を作っています。東海・北陸6県の公共図書館は、各県立図書館が中心となって図書館の相互貸借をしています。土岐市図書館にない本でも他の図書館から借用して提供しますので、お気軽に申し込みください。

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	⑳	27	⑳	㉑	㉒	㉓

※○が休館日です

開館時間	
火～金曜日	10:00～19:00
土・日曜日、祝・休	10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です